



女性農業者のネットワークづくりや設備投資を応援！ 「よこはま・ゆめ・ファーマー」を認定します。

横浜市では、女性農業者がいきいきと働き暮らせる農のある豊かなまち横浜を目指すため、女性農業者を「よこはま・ゆめ・ファーマー」として認定しています。

農業に携わる女性は多いですが、女性農業者同士のネットワークを構築するきっかけが少ないという課題がありました。「よこはま・ゆめ・ファーマー」として認定されることで、女性農業者同士のネットワークを構築し、販路拡大や加工品のノウハウが広がり新商品の開発などの好循環につながっています。

このたび、令和5年度、第28期よこはま・ゆめ・ファーマーとして新たに3人の女性農業者を認定します。本制度が始まった平成8年度から今年度まで、142人の方が「よこはま・ゆめ・ファーマー」に認定されることとなります。

今後も加工等の施設見学や勉強会、交流会を通して支援を行い、女性農業者のネットワークづくりや能力開発に役立てます。

1 よこはま・ゆめ・ファーマー認定式

環境創造局長から認定書を交付し、よこはま・ゆめ・ファーマー認定者が今後の活動に向けた抱負を語ります。

日時：令和5年8月9日(水)13時30分から13時50分まで

場所：環境創造局長室（市庁舎28階）



昨年度の様子

よこはま・ゆめ・ファーマー認定者の紹介（50音順）

氏名	農業従事地区	事業内容・今後の抱負
かざま みつえ さん 風間 美津江 さん	戸塚区	令和3年に新規就農。露地野菜を多品目栽培している。「ハマッ子」直売所、わくわく広場等へ出荷。今後は親子向けに収穫体験を行っていききたい。
しむら えりな さん 志村 えりな さん	青葉区	露地野菜や施設野菜、果樹を栽培している自家栽培の果実や野菜を利用した柚子胡椒やパウンドケーキなどの加工品に取り組みしており今後拡大していききたい。
たばた ふみえ さん 田畑 文枝 さん	青葉区	ブドウなど果樹をメインに、野菜や米も栽培。畑の前や四季の家での直売、JIKE マルシェ（青葉区）に出店している。今後は自宅に直売所や加工所を作りたい。

2 取材について

当日は認定者へのインタビューが可能です。是非ご取材ください。

※取材をご希望の場合は、8月7日（月）17時までにメールでお申し込みください。

- ・メールアドレス：ks-nogyoshinko@city.yokohama.jp
- ・記載内容：社名、取材に来られる方の氏名、電話番号

3 よこはま・ゆめ・ファーマー認定後の支援

- (1) 女性農業者同士のネットワーク形成
- (2) 直売所・加工所の設置支援
- (3) 加工所見学会や加工方法の勉強会の実施 など

【参考】よこはま・ゆめ・ファーマー支援事業の概要

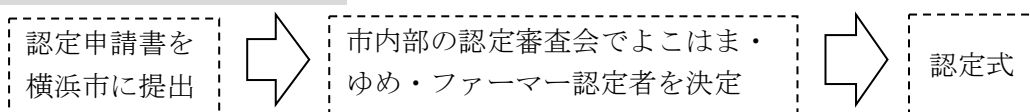
認定要件

- (1) 横浜市内に居住する女性で、認定時の年齢が原則として 60 歳以下の者
- (2) 農業に従事する者又は農家世帯の構成員で、農家生活や地域の活性化のために積極的に活動をしている者
- (3) 目指す女性農業者像の目標に対して積極的に取り組む意志のある者

目指す女性農業者像

- (1) 農業者として、地域の農業を支える担い手としての自覚と誇りを持つ。
- (2) 農業経営に主体的に参画し、豊かな暮らしの実現に努める。
- (3) 生活者の視点を活かし、消費者との連携を深めた農のある地域づくりや、女性たちの仕事づくりを目指す。
- (4) 地域の農業に関する様々な方針決定の場へ積極的に参画する。
- (5) 女性農業者ならではのネットワークづくりを目指す。

申請から認定までの流れ



認定後の支援（認定から4年間）

グループ活動や研修の場への参加、ネットワークづくりの支援を行います。
また、横浜みどりアップ計画に基づく直売所・加工所の設置支援事業における補助の対象となっています。



【連続セミナー・交流会の様子】



【他都市の加工所の視察研修会】

◆参考情報



「横浜農場」について・・・

「横浜農場」は、食や農に関わる多様な人たち、農畜産物、農景観など、横浜らしい農業全体を農場として見立てた言葉です。横浜市では、この「横浜農場」を使い、横浜の農業のPRを進めています。

横浜で初めての万博となる2027年国際園芸博覧会の開催に向けて、
横浜市では引き続き、農業の推進に取り組んでいきます。



お問合せ先

環境創造局農業振興課長

田並 静 Tel 045-671-2606